

序

「沖縄こどもの国」は、沖縄県内で唯一の本格的な動物園、ワンダーミュージアム、チルドレンズセンター、ふるさと園から構成される複合的な魅力を有する施設であり、全県的な人材育成施設として創設され、本市の多様な施策においても、情操教育、人材育成をはじめ、観光振興等の分野で大きな役割を担う施設として重要な位置づけがなされている。また、平成 25 年度には、ワンダーミュージアムの展示品リニューアルを実施し、来園者の好評を得ている。

しかしながら、「沖縄こどもの国」においては、動物園エリアの一部施設の老朽化や、園路の起伏による歩行の困難、ユニバーサルデザインへの配慮不足等の課題が年々顕著になってきている。また、来園者はほとんどが県内からの来園者となっており、観光客を誘客する要素が希薄な状況である。

平成 26 年 6 月の観光立国推進閣僚会議では、2020 年に向けて海外からの観光客を 2,000 万人とする観光立国における諸施策の積極的な推進が示され、またその中で大きな役割が期待される沖縄県において、観光施設としての魅力の向上も大きな課題となっている。

これらのことから、国内に類をみないユニークで魅力ある「沖縄こどもの国」として、誘客要素及び教育要素を含む施設として整備するため新たな整備計画を策定する。

本業務は、平成 26 年度に実施した基礎データの収集結果と整備基本方針の検討（案）をふまえ、日本一ユニークな施設としてのあり方を検討し、「沖縄こどもの国」の設置の目的である人材の育成に加え、観光施設としての魅力を備えた施設をめざした基本理念を掲げる。また、基本理念の実現に向けた基本方針の設定、及びハード面、ソフト面における再整備に向けた基本的な考え方を検討した基本計画を策定する。